



■もくじ

- 企画展「濃尾平野の大集落・朝日遺跡展」のお知らせ …(1)
- ロビー展「笠寺公園の風景写真展」の写真を募集します …(2)
- 次回の展示替を公開して行います ……………(2)
- 速報 見晴台遺跡第55次発掘調査の成果 ……………(3)
- みはらしだい11-1月 お知らせ ……………(4)

◀第55次市民発掘 ミーティングの様子

企画展「濃尾平野の大集落・朝日遺跡展」のお知らせ

朝日遺跡は、弥生時代を通じて栄えた東海地方を代表する遺跡です。遺跡の中心は清須市にあり、墓域は名古屋市内にも広がっています。

見晴台遺跡と朝日遺跡は、環濠集落遺跡である点で同じですが、ムラの存続期間や集落の構造、出土する遺物の種類には差があります。その内容からは、朝日遺跡は都市的な機能を持ったムラ、見晴台遺跡は一般的なムラである様子がわかります。弥生時代は、地域に中核と周縁部の関係性が生まれた時代とも言えるでしょう。

今回の展示では、名古屋市内で行われた調査から出土した資料を中心に紹介します。見晴台遺跡との違いや類似する点から、朝日遺跡のイメージを掴んでいただくと幸いです。

期 間：平成27年10月29日(木)

～平成28年1月23日(土)

会 場：名古屋市見晴台考古資料館展示室

入 場 料：無料

展示説明：平成27年12月13日(日)

平成28年1月10日(日)

午前11時から11時30分

展示室にお集まりください。

(申し込み不要・無料)

展示内容

(1) 朝日遺跡と方形周溝墓

朝日遺跡は、弥生時代中期の初めごろから半ばにかけて最も栄えました。この頃、居住域の周りには4つの墓域が広がり、たくさんの方形周溝墓が造られました。

東側(名古屋市域)の墓域は、谷を挟んで北と南に分かれています。このうち南側の墓域は「東墓域」と呼ばれ、集落内で特に力を持った人々の墓域のようです。

展示では、谷を挟んで北側の「北墓域」から出土した土器を紹介しています。それら墓に供えられた土器は、文様で装飾された華やかなものです。展示遺物：朝日遺跡(市教委11次調査)出土 壺、朝日遺跡(市教委14次調査)出土 壺など



▲北墓域から出土した土器

(2) 見晴台が栄えた頃の朝日遺跡

弥生時代後期は、朝日遺跡や見晴台遺跡で環濠集落が築かれる時代です。

朝日遺跡でも見晴台遺跡でも共通して、文様の少ないモダンな形状の土器を使うようになりました。円窓付土器まるまどつき ど きや銅鐸形土製品どうたくがたどせいひんなど特徴的な遺物も見られ、両遺跡が同じ文化圏であることがわかります。

展示遺物：朝日遺跡（愛知県教育委員会調査）出土 円窓付土器、朝日遺跡（愛知県教育委員会調査）出土 銅鐸形土製品など

(3) 朝日遺跡の生活

朝日遺跡ではコメ作りが行われていました。遺跡からは炭化したコメや、稲穂を収穫するための道具が見つかっています。

さらに、遺跡内には青銅器ちゆうぞう たまづくの鑄造や玉造りなど高度な技術を持った技術者も住んでいました。それら技術や素材の獲得には、遠隔地域との活発な交流があったことが背景にありました。

展示遺物：朝日遺跡（市教委第14次調査）出土 石包丁、朝日遺跡（市教委第14次調査）出土 石製銅鐸鑄型いがたなど

ロビー展「笠寺公園の風景写真展」の写真を募集します

平成28年1月27日（水）から当館ロビーにて「笠寺公園の風景写真展」を行います。開催に伴い、今回もみなさまから、公園の日常を写した写真や、公園内で撮影された鳥や花などの写真を募集したいと思います。ふるってご応募ください。

受付期間：1月9日（土）～1月24日（日）

展示期間：1月27日（水）～2月21日（日）

※応募多数の場合に限り、展示替を行います。

その場合、【前期：1月27日（水）～2月7日（日）、後期：2月9日（火）～2月21日（日）】に分けて展示を行います。

受付方法：当館窓口へ直接写真をお持ちください。

一人につき、10作品まで受け付けます。

※印刷した写真（四つ切りサイズ以下）をお持ちください。

※郵送での受付・返送はお断りしています。



▲昨年度の展示の様子

次回の展示替を公開して行います

次回の企画展は「新出土品展」を予定しています。本展では、開発工事などに合わせて行う緊急発掘の成果を中心に、平成26年度中に名古屋市内で実施された発掘調査成果をご紹介します。実際に出土した遺物や調査時の写真パネルなどを多数並べます。期間は、平成28年1月27日（水）から3月13日（日）を予定しています。

この展示に伴う展示替作業の一部を、1月24日

（日）午後1時から4時に一般公開して行います。具体的に行う作業は、展示ケース内の清掃や、展示台の設置、展示パネルの設置、資料の設置などです。普段はお見せすることのない「裏方の作業」の様子を見ていただけます。時間中に、見晴台考古資料館展示室にぜひお立ち寄りください。

※作業の進捗状況により、見ていただける作業内容が変わります。

速報 見晴台遺跡第55次発掘調査の成果

第55次発掘調査の市民参加は9月22日で終了し、翌23日に調査報告会を実施しました。今年の目標は、資料館建設前から可能性が指摘されていた「方形周溝墓」を確認することでした。

西側で3か所（a～c区）、東側で2か所（d・f区）を設定し、周溝墓の溝の検出具合で調査区を拡張する予定で始めました。西側では公園造成土等が意外としっかりしており、これの除去に手間取りました。結果、b区では住居と思われる整地層（貼床）の下から貝殻の混じる黒色土が検出され、c区でも溝状に広がる黒色土が検出されました。またc区の黒色土からは高坏や壺などが出

土しました。これらの土器は、集落が出来るよりもやや古い時期の特徴を持ち、これまで周溝墓の溝と考えられていたところから出土した土器とも共通する特徴を持っていました。b・c区の黒色土がつながるとすれば、西側は方形周溝墓である可能性が強まったと言えます。また、東側では、d区の西端で貝殻の混じる黒色土を検出しました。これが“溝”であるとするれば東側も周溝墓である可能性を否定できないことになります。

いずれにせよ、今年の結果は、次回以降の課題となりました。



▲b区(右)とc区(左上)



▲土器の出土状況(c区)



▲調査位置

■展示会 EXHIBITION

- 常設展「弥生のムラ・見晴台遺跡展」
- 常設展「国史跡・志段味古墳群展」
- 企画展「濃尾平野の大集落・朝日遺跡展」

期間：開催中～1月23日(土)

●企画展「新出土品展」

期間：1月27日(水)～3月13日(日)

●ロビー展「笠寺公園の風景写真展」

期間：1月27日(水)～2月21日(日)

■映画会 MOVIE (子ども向け)

日時：11月21日(土) 午前10時～

内容：わくわくビデオ図鑑⑤「チョウ」(25分)

まんが世界昔ばなし6

「みにくいあひるの子」など (46分)

日時：12月19日(土) 午前10時～

内容：たのしい行事シリーズ

「クリスマスキャロル」 (29分)

まんが世界昔ばなし7

「ハルメンの笛ふき」など (60分)

日時：1月16日(土) 午前10時～

内容：わくわくビデオ図鑑⑥「ミツバチ」(25分)

まんが世界昔ばなし8

「ウィリアム・テル」など (60分)

■映画会 MOVIE (一般向け)

日時：11月21日(土) 午後2時～

内容：大自然ドキュメントシリーズ

「ハワイの神秘」 (40分)

日本の記録20

「東京オリンピック開く」 (54分)

日時：12月19日(土) 午後2時～

内容：大自然ドキュメントシリーズ

「熱帯雨林」 (50分)

日本の記録21

「相次ぐ航空機事故」 (55分)

日時：1月16日(土) 午後2時～

内容：大自然ドキュメントシリーズ

「グレート・バリア・リーフ」 (48分)

日本の記録22

「激化する大学紛争」 (55分)

場所：映像展示室 ※申込不要・無料

★表紙カット 朝日遺跡出土 鉢

北墓域にある方形周溝墓から出土した弥生土器です。弥生時代中期中葉頃と見られます。

墓から出土する土器の多くは壺ですが、まれに鉢も見られます。斜格子文や鋸歯文が刻まれて、装飾がほどこされています。

◆所在地	〒457-0026 名古屋市南区見晴町47(笠寺公園内) 電話 052-823-3200 FAX 052-823-3223
◆開館時間	午前9時15分～午後5時(入場無料)
◆休館日	月曜日(休日の場合は翌平日) 第4火曜日(休日を除く) 年末・年始(12月29日～1月3日)
◆交通	市バス「笠寺西門」下車 東へ徒歩7分 市バス「弥生町」下車 西へ徒歩7分 地下鉄 桜通線「鶴里」駅下車 南西へ徒歩15分 名鉄電車「本笠寺」駅下車 東へ徒歩10分



名古屋市見晴台考古資料館報 みはらし No.298
編集・発行 名古屋市見晴台考古資料館 不定期刊行・1200部・一般・無料

2015年11月20日発行
加藤印刷

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。